

2026年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社ニューロマジック 上場取引所 東 福
 コード番号 251A URL <http://www.neuromagic.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 黒井 基晴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CIO (氏名) 石川 修一 TEL 03 (3248) 1424
 定時株主総会開催予定日 2026年5月28日 配当支払開始予定日 2026年5月29日
 発行者情報提出予定日 2026年5月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期の連結業績（2025年3月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	1,163	△4.3	26	—	33	—	27	—
2025年2月期	1,216	△7.9	△53	—	△67	—	△71	—

(注) 包括利益 2026年2月期 31百万円 (—%) 2025年2月期 △67百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年2月期	33.52	—	18.0	5.8	2.3
2025年2月期	△88.40	—	△42.8	△11.5	△4.4

(参考) 持分法投資損益 2026年2月期 ー百万円 2025年2月期 ー百万円

- (注) 1. 2024年6月1日付で、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。
2. 2025年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2026年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	605	168	27.9	205.17
2025年2月期	533	137	25.8	167.04

(参考) 自己資本 2026年2月期 168百万円 2025年2月期 137百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年2月期	77	28	△12	367
2025年2月期	△51	0	27	270

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年2月期	0.00	0.00	0.00	0	—	—
2026年2月期	0.00	10.24	10.24	8	30.55	5.5
2027年2月期 (予想)	—	—	—	—	—	—

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	3.1	25	△4.9	22	△31.2	3	△88.3	3.93

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年2月期	823,600株	2025年2月期	823,600株
2026年2月期	一株	2025年2月期	一株
2026年2月期	823,600株	2025年2月期	811,506株

(注) 当社は、2024年6月1日付で、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。
このため、前連結会計年度にかかる株式数につきましては、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調をたどりました。一方で、長期化する物価上昇が個人消費に与える影響や、各国の金融政策の転換に伴う為替相場の変動に加え、米国新政権の政策動向等による世界経済への影響など、様々な情勢不安が国内景気を下押しするリスクが懸念され、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻くIT・Web業界におきましては、生成AIをはじめとするテクノロジーの急速な進展を背景に、企業のデジタル活用はより高度化・多様化しております。それに伴い、単なるWebサイトの制作にとどまらず、ユーザーの行動や心理に寄り添った本質的なUX/UI（ユーザー体験）の向上や、事業プロセスそのものを変革する「DX実行支援」、さらには企業価値の向上に直結する「サステナビリティ推進」など、複雑化する経営課題を解決へと導く、より高度なサービスデザインや付加価値の高いソリューションを求める企業の需要が拡大しております。

このような環境の中、当連結会計年度における当社グループのエクスペリエンスデザイン事業におきましては、前連結会計年度までの大型案件に依存する受注体制を見直し、小・中規模案件を中心とした安定的な受注基盤の構築へシフトいたしました。これにより受注自体は底堅く推移したものの、売上高の上振れを牽引する大型案件の寄与が弱まりました。

一方で利益面につきましては、期初より全社を挙げて取り組んだコスト削減策が奏功し、売上原価が大幅に減少いたしました。また、オフィス環境の最適化を目的とした本社移転に伴う費用の発生により、販売費及び一般管理費は微増となったものの、全体のコストコントロールに努めた結果、収益体質は大きく改善いたしました。さらに、営業外収益として保険解約収入を計上しております。

これらの結果、連結売上高は1,163,458千円（前連結会計年度比4.3%減）、営業利益は26,890千円（前連結会計年度は営業損失53,516千円）、経常利益は33,224千円（前連結会計年度は経常損失67,872千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は27,610千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失71,738千円）となりました。

なお、当社グループは、エクスペリエンスデザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ106,923千円増加（22.6%増）し、580,504千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加96,843千円があったこと等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ35,039千円減少（58.5%減）し、24,880千円となりました。これは主として、保険積立金の減少19,636千円、工具、器具及び備品の減少13,136千円があったこと等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ74,459千円増加（40.1%増）し、260,315千円となりました。これは主として、未払金の増加38,425千円、短期借入金の増加19,740千円があったこと等によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ33,977千円減少（16.2%減）し、176,090千円となりました。これは主として、長期借入金の減少38,644千円があったこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上27,610千円等により、前連結会計年度末に比べ31,401千円増加（22.8%増）し、168,978千円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は367,593千円（前連結会計年度比96,843千円の増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は77,533千円(前連結会計年度は51,636千円の支出)となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益33,224千円を計上したこと、未払金の増加38,256千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は28,284千円(前連結会計年度は654千円の収入)となりました。これは主として、保険積立金の解約による収入28,384千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は12,860千円(前連結会計年度は27,292千円の収入)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出42,125千円があった一方で、短期借入金の純増減額による収入19,740千円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、当連結会計年度において達成した収益体質の改善を確実な基盤とし、無理な規模の拡大を迫るのではなく、着実な利益の創出を最優先とする経営方針を継続してまいります。具体的には、以下の取り組みを推進いたします。

- (1) 高付加価値業務へのシフト及び生産性向上による、効率的な事業推進
- (2) 徹底したコストコントロールによる強固な経営体制の維持
- (3) 安定的な営業利益水準の継続的な確保

2027年2月期の業績につきましては、連結売上高1,200百万円(前年同期比3.1%増)、連結営業利益25百万円(前年同期比4.9%減)、連結経常利益22百万円(前年同期比31.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3百万円(前年同期比88.3%減)を見込んでおります。業績予想値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。今後、業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当連結会計年度 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	270,750	367,593
売掛金	141,704	171,280
仕掛品	23,029	13,687
その他	38,097	27,942
流動資産合計	473,581	580,504
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,583	—
工具、器具及び備品	39,616	26,480
リース資産	2,160	1,188
減価償却累計額	△35,878	△23,204
有形固定資産合計	11,480	4,464
無形固定資産		
ソフトウェア	—	98
無形固定資産合計	—	98
投資その他の資産		
保険積立金	19,636	—
繰延税金資産	14,542	10,235
その他	14,260	10,082
投資その他の資産合計	48,439	20,317
固定資産合計	59,920	24,880
資産合計	533,501	605,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当連結会計年度 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	36,766	34,495
短期借入金	16,660	36,400
1年内返済予定の長期借入金	41,013	47,532
未払金	65,940	104,365
未払法人税等	4,352	4,834
受注損失引当金	6,916	745
その他	14,207	31,941
流動負債合計	185,855	260,315
固定負債		
長期借入金	155,533	116,889
退職給付に係る負債	53,065	58,417
その他	1,469	784
固定負債合計	210,067	176,090
負債合計	395,923	436,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,617	61,617
資本剰余金	8,358	8,358
利益剰余金	50,579	78,190
株主資本合計	120,555	148,166
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,022	20,812
その他の包括利益累計額合計	17,022	20,812
純資産合計	137,577	168,978
負債純資産合計	533,501	605,384

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
売上高	1,216,303	1,163,458
売上原価	1,013,074	906,492
売上総利益	203,229	256,966
販売費及び一般管理費	256,745	230,076
営業利益又は営業損失 (△)	△53,516	26,890
営業外収益		
受取利息	109	499
受取配当金	2	2
保険解約益	—	8,748
為替差益	46	—
補助金収入	2,045	—
その他	338	1,137
営業外収益合計	2,541	10,387
営業外費用		
支払利息	2,375	2,811
上場関連費用	13,550	—
長期前払費用償却	—	894
その他	971	345
営業外費用合計	16,897	4,052
経常利益又は経常損失 (△)	△67,872	33,224
特別損失		
固定資産除売却損	110	—
特別損失合計	110	—
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△67,982	33,224
法人税、住民税及び事業税	6,285	1,306
法人税等還付税額	△6,101	—
法人税等調整額	3,572	4,306
法人税等合計	3,755	5,613
当期純利益又は当期純損失 (△)	△71,738	27,610
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△71,738	27,610

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△71,738	27,610
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,017	3,790
その他の包括利益合計	4,017	3,790
包括利益	△67,720	31,401
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△67,720	31,401
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	57,060	5,460	122,317	184,839
当期変動額				
新株の発行	4,556	4,556		9,113
剰余金の配当			—	—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△71,738	△71,738
連結子会社株式の追加取得に よる持分の増減		△1,659		△1,659
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	4,556	2,897	△71,738	△64,283
当期末残高	61,617	8,358	50,579	120,555

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額 合計		
当期首残高	13,004	13,004	3,287	201,130
当期変動額				
新株の発行				9,113
剰余金の配当				—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△71,738
連結子会社株式の追加取得に よる持分の増減				△1,659
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,017	4,017	△3,287	730
当期変動額合計	4,017	4,017	△3,287	△63,553
当期末残高	17,022	17,022	—	137,577

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	61,617	8,358	50,579	120,555
当期変動額				
剰余金の配当			—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益			27,610	27,610
連結子会社株式の追加取得に よる持分の増減				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				—
当期変動額合計	—	—	27,610	27,610
当期末残高	61,617	8,358	78,190	148,166

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額 合計		
当期首残高	17,022	17,022	—	137,577
当期変動額				
剰余金の配当				—
親会社株主に帰属する 当期純利益				27,610
連結子会社株式の追加取得に よる持分の増減				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,790	3,790	—	3,790
当期変動額合計	3,790	3,790	—	31,401
当期末残高	20,812	20,812	—	168,978

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△67,982	33,224
減価償却費	9,793	6,490
受取利息及び受取配当金	△111	△501
支払利息	2,375	2,811
保険解約益	—	△8,748
受注損失引当金の増減額(△は減少)	5,083	△6,170
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,110	5,351
固定資産除売却損益(△は益)	110	—
売上債権の増減額(△は増加)	51,531	△29,553
棚卸資産の増減額(△は増加)	41,522	9,341
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,367	△2,386
未払金の増減額(△は減少)	△32,597	38,256
その他	△33,800	26,263
小計	△45,331	74,379
利息及び配当金の受取額	111	501
利息の支払額	△2,375	△2,811
法人税等の支払額	△4,039	△824
法人税等の還付額	—	6,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	△51,636	77,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	10,800	—
有形固定資産の取得による支出	△5,396	—
有形固定資産の売却による収入	213	—
無形固定資産の取得による支出	—	△100
保険積立金の支払による支出	△3,962	—
保険積立金の解約による収入	—	28,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	654	28,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	16,660	19,740
長期借入による収入	80,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△64,492	△42,125
非支配株主への払戻による支出	△4,382	—
その他	△493	△475
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,292	△12,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,663	3,885
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,026	96,843
現金及び現金同等物の期首残高	290,776	270,750
現金及び現金同等物の期末残高	270,750	367,593

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、エクスペリエンスデザイン事業を主体に行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
1株当たり純資産額	167円04銭	205円17銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△88円40銭	33円52銭

- (注) 1. 当社は、2024年5月17日開催の当社取締役会の決議に基づき、2024年6月1日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△71,738	27,610
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△71,738	27,610
普通株式の期中平均株式数(株)	811,506	823,600

3. 2025年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2026年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。